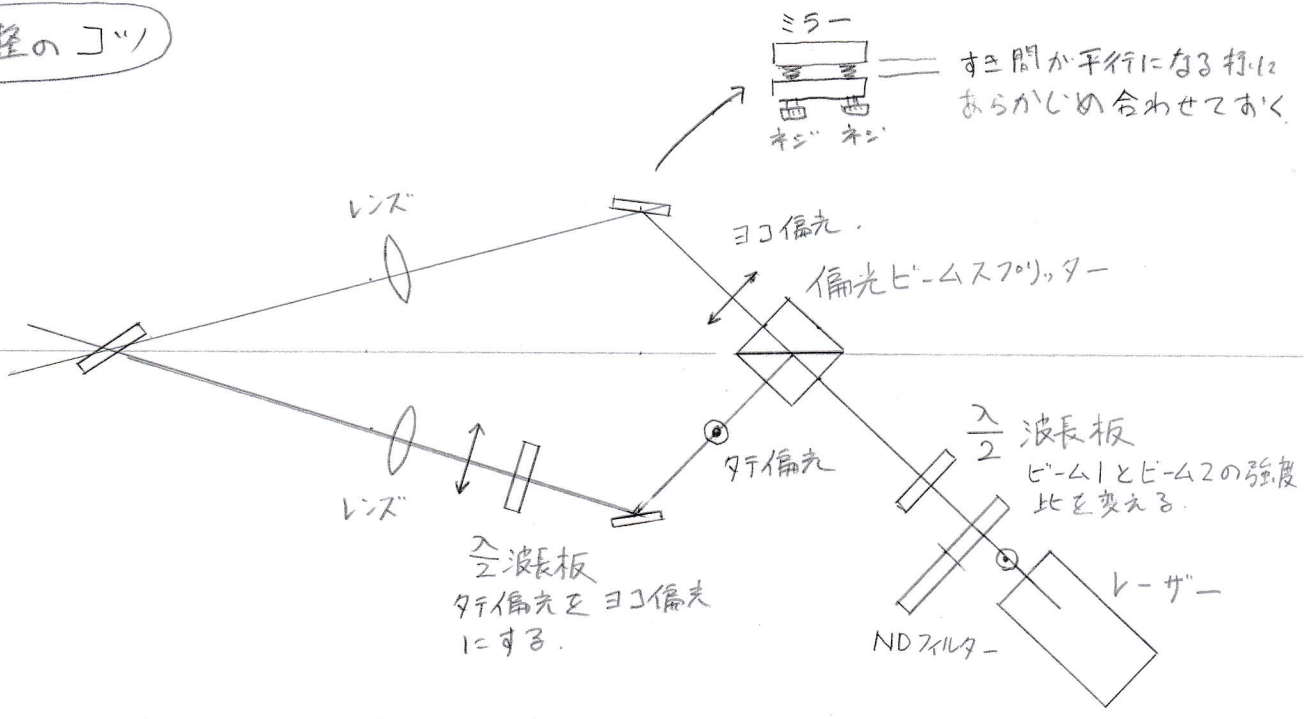
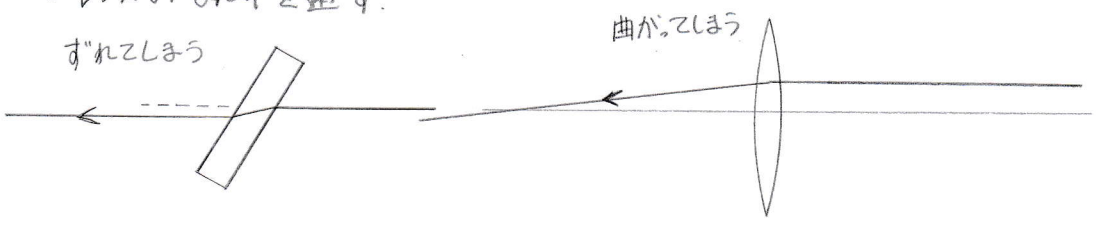


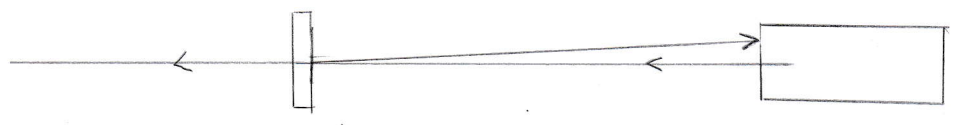
光学系調整のコツ



- レーザー光を光学素子に垂直に入れる。
- レンズのみ中を通す。

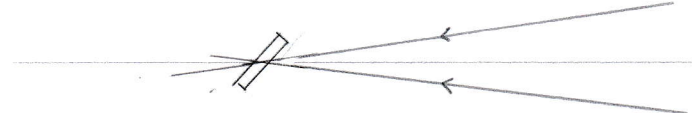


ただし、完璧に垂直に入れると、反射光がレーザーに戻ってしまう。
 レーザーに光が戻るとレーザー発振が不安定になり壊れてしまう。
 そのため、わずかに傾けて、光がレーザーに戻らない様にする。



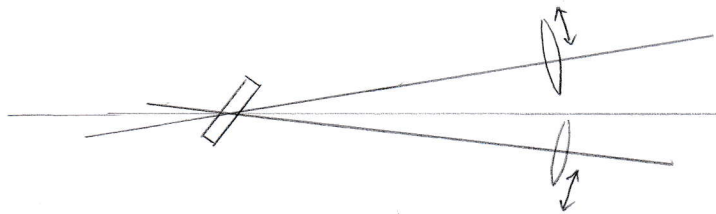
素子をレーザーからなるべく離して設置することが重要。

2光波結合の測定では、まず、レンズ無しで光学系を組む



光線は常に水平を採つ。レーザーの真近と、光学系のいっしょに遠い所で同じ高さになる様にする。
 レンズ無しで試料の1点でレーザー光が交わる様にする。

それからレンズを入れ、レーザー光が同じ場所に集まる様にレンズの位置を微妙に調整する。ミラーを触ってはならない。



レンズをずらすと光軸もずれる。
 レンズのみ中と光軸が一致すれば、光軸はずれない。

この様に調整すれば、レンズのみ中を通った光学系になる。
 ミラーの微調整ネジに触らない。